

特集

木づかい推進月間

多彩なイベントを全国各地で開催

木材は人と環境に優しい資材であり、地域の木材を利用することは地域の林業や木材産業を活性化するだけでなく、森林の多面的機能の発揮や地球温暖化防止、資源循環型社会の形成に貢献するものです。

このため、林野庁では国産材を皆さんに広く利用していただけるよう「木づかい運動」を行っています。とくに10月は「木づかい推進月間」として、全国各地で木づかいに関する多くの行事やイベントが開催されます。

この機会に木の良さを感じ、暮らしの中に木製品を取り入れることで森林を育てる「木づかい運動」に参加してみませんか。



これからの木づかい関連のイベント・行事

木づかい運動に関する主要行事の概要

行事名	開催時期	開催場所	主催者	行事の概要
1 消費者の部屋	9月27日(月) ～10月1日(金)	農林水産省北別館 1階	林野庁	国産材製品、パネル等を展示
2 生物多様性交流フェア (COP10)	10月11日(月) ～29日(金)	名古屋市白鳥地区	生物多様性条約第10回締 約国会議支援実行委員会	農林水産省ブースで、木づかい運動のパ ネル展示等
3 木と暮しのふれあい展	10月2日(土) ～3日(日)	都立木場公園 (江東区木場)	東京都、(社)東京都木材団 体連合会	式典、森林・林業・木材産業関係出展団 体による展示・販売等
4 杉コレクション2010 in 西都	10月30日(土)	西都市西都原公園 イベント広場(鬼 の窟周辺)	宮崎県木材青壮年会連 合会、杉コレクション 2010実行委員会	主素材にスギを使った作品展。2次審査 を通過したアイデア・デザインは、宮 崎県木材青壮年会連合会が実物大作品を 製作し、グランプリ等の最終選考会
5 木づかい企業・団体 異業種交流セミナー	11月4日(木) ～5日(金)	東京大学弥生講堂	NPO法人活木活木(いき いき)森ネットワーク	セミナー、パネルディスカッション、国 産材製品の商品展示、企業間交流会等
6 森のめぐみの子ども博	11月6日(土) ～7日(日)	東京おもちゃ美術館	認定NPO法人日本グッ ド・トイ委員会	全国各地の木工職人が製作した子ども向 けの木の家具、食器、おもちゃを展示す る見本市
7 木育キャラバン	11月20日(土) ～21日(日)	仙台市 夢メッセみやぎ	認定NPO法人日本グッ ド・トイ委員会	木のおもちゃの体験、木育ワークショッ プ・木育セミナーの開催等
8 エコプロダクツ2010 「森林から始まるエコライ フ展」	12月9日(木) ～11日(土)	東京国際展示場 ビッグサイト	(社)国土緑化推進機構 美しい森林づくり全国推進 会議 NPO法人活木活木(いき いき)森ネットワーク	日本最大の環境展示会において、多様な 実践団体の協力により、国産材製品の展 示・販売、マイ箸づくり等
9 木育キャラバン	1月8日(土) ～10日(月)	宮崎市 みやざきアートセ ンター	認定NPO法人日本グッ ド・トイ委員会	木のおもちゃの体験、木育ワークショッ プ・木育セミナーの開催等

国産材住宅普及推進キャンペーン

国産材を利用した住宅に対する関心が高まりつつあります。人にやさしい国産材の魅力のほか、地域産業の活性化や地球環境の保全にもつながる「国産材での家づくり」に関する様々な情報提供をポータルサイト【日本の木のいえ情報ナビ】を中心に展開しています。

～ずっと住むなら、やっぱり日本の木～

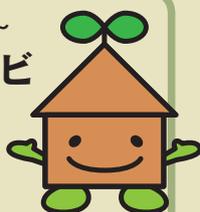
日本の木のいえ情報ナビ

<http://www.nihon-kinoie.jp/>

国産材を使った住宅づくりに関する様々な情報を提供するポータルサイトです。

<募集しています！>

- メルマガ会員 「木の家応援団」
会員登録すると抽選で「応援団キット」が当たります。
国産材グッズの当たるクイズも展開中です。
- 登録事業者「工務店等」「国産材販売店等」
- 木の家の実例 「新築」「内装リフォーム」



<日本一の木の家の実例サイトを目指します>

木の家の実例掲載数の大幅アップと問い合わせ喚起に向けて、実例を掲載するサイト機能を強化しています。

- 実例を探しやすい検索システムにリニューアル
- 各実例ページからの問い合わせが可能に

<取材コンテンツの充実を図ります>

取材によるオリジナル記事・映像を幅広く提供しています。

- 特集：木の家に関する話題のテーマを解説
- 木の家ものがたり：木の家を訪問取材
- 木のいえニュース：木の家づくりへの取組を取材

<イベントツールを提供します>

住まいづくりや国産材に関するイベントに役立つツールを用意しています。

- チラシ・ノベルティ、パネル、ディスプレイ什器

お問い合わせ

国産材住宅普及推進キャンペーン事務局
tel:03-5843-7858

※ツール提供の際、イベントの内容を確認させていただきます。



<http://www.itoki.jp/>

木づかいの取組

株式会社イトーキ

創業120周年を記念した 新事業「エコニファ」

明治 23年に創業した株式会社イトーキは、今年創業

120年を迎えたスチール家具の製造販売会社。120周年を記念して、地域材の活用を通じ、新たな感性価値をプラスした製品を創造する取り組みとしてEconiffa(エコニファ)と題し、低炭素社会を目指した事業を開始しました。

Econiffaは、「ECO」エコノミーと「Conifer」コニファー(針葉樹の意からの造語で、日本の森林の多くを占めている針葉樹(スギやヒノキ)を製品として活用するソリューション活動の名称です。「人も生き生き、地球も生き生き」をキーワードに、



机と椅子、内装まで国産材を使用した教室



カウンターと床材に国産材を使用(立川市役所)



木の質感が新たな感性価値を生む
(市営スポーツ施設)



木の持つ温もりが感じられる書架(図書館)

日本古来の「木の文化」を見つめ直す

国産材の利用を促進し、森林活性化によるCO₂の吸収量増加や生活環境での木材利用によるCO₂の固定化量の増加への貢献を目標としています。

森林

は、地球温暖化防止をはのかん養、国土の保全、貴重な動植物の生息生育の場など、数多くの役割を果たしています。しかし、日本の森林は、林業の採算性の低下や山村の過疎化などにより活気をなくし、「植林・育林・収穫」という森の循環が十分にできていません。

日本

には昔から「木の文化」が根つき、暮らしの中に森の恵みを取り込みながら、歴史を育んできました。イトーキは、この恵みの大切さを見つめ直し、緑豊かな美しい国土を将来の世代に確実に引き継いでいくため、地域材活用への取組を広げて、木の社会づくりに貢献していきます。

エコニファ

は、森林のCO₂吸収をはじめとする機能をしっかりと発揮させるため、都市での積極的な森林資源活用、例えば、オフィス空間や公共施設における家具や内装への国産のスギ・ヒノキ材の採用といった地域材活用により、森林整備、林業活性化に貢献したいという願いから生まれました。

地域 材活用により、地域資源の有効活用と地場産業の活性化に貢献し、家具から書架、床や壁などの内装に至るまで幅広い用途における地産地消を通じて、新たな製品価値を提案しようというエコニファの取組。国や地方自治体で活用を促進している間伐材製品は、グリーン購入法の対象にもなっています。



http://ecodepa.jp/ (エコデパジャパン)

木づかいの取組

株式会社 生活アートクラブ

〒167-0043 東京都杉並区上荻2-3-4 ゆうてん荻窪ビル3F
フリーダイヤル 0120-43-5511 TEL 03-5311-2411

環境負荷軽減より、
環境を育成する提案を

平成

13年に設立した生活アートクラブは、エコロジー雑貨の企画・制作・卸販売などを行う企業。環境にやさしい、地球に優しいといったレベルではもう手遅れだとの考えから、間伐材でつくった封筒のように、間伐すること森を育てるような積極的な活動を支援することをコンセプトに活動を開始しました。

消費

者にとって特別な活動ではなく、商品を使用することで「さりげなく」環境改善やグリーンコンシューマーの輪を広げることができると、「環境直結の消費者参加商品を世に提案していく」ことを狙いとし、現在1000種以上の国産木材製品の販売を行っています。

生産者の顔を消費者へ、

消費者の声を生産者につなぐ橋渡し

生活

アートクラブでは、国産材を使用した製品の売り場づくりのため、「木のある暮らし」「3.9グリーンスタイル」「こどものおもちゃ」などの特別企画によって、全国の木製品を結集させ、インターネットやチラシ媒体で提案。製品の紹介にあわせて、「木づかい運動の意義」「間伐材を使

用する意義」「木材や使用方法の解説」などを説明し、木づかい運動の普及を行っています。

また

「生産者の顔を消費者へ、消費者の声を生産者へ返す橋渡し」をポリシーに、商品規格書の作成にあたっては、現地を訪問しての聞き取り取材を行い、職人の製品への思いやストーリーを反映させるとともに、仕入・営業スタッフが得た消費者のニーズを生産者にフィードバックし、生産者の信頼を得るとともに、製品のパッケージや取扱説明書を自社制作することで、消費者の求めるニーズに

える努力も続けてきました。

生活

アートクラブの顧客の多くが女性であるため、消費者の購買意欲に訴えるカタログやチラシは、すべて自社の女性編成チームが行っています。これは「主役が女性なら、舞台づくりも女性の手で」という考えによるもの。展示会や小売店でのイベントには社員全員が参加して、消費者の生の声を傾けています。

昨年

度生活アートクラブは、そのユニークな販売手法が評価され、「木づかい運動」の推進に貢献し、「木づかい運動」の意義等のPRを有効に行った企業として「木づかい運動推進部門」で、農林水産大臣感謝状を授与されています。

国産

材を使った製品はほとんど提案してほしい、と同社。商品の提案は、03(5311)2411まで。

国産材を使用した
文具や小物



国産材製品を特集したチラシ

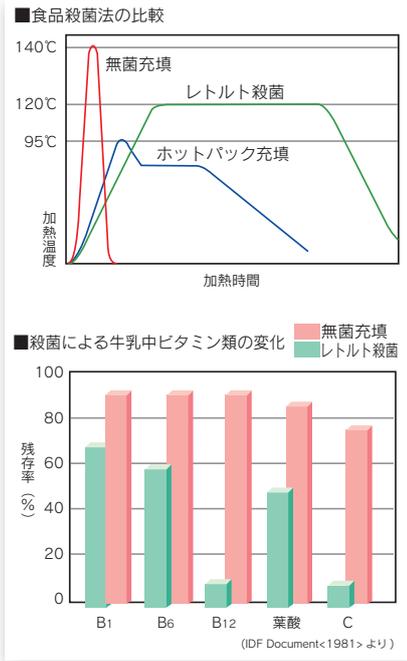


<http://www.morikami.jp/>

木づかいの取組

森を育む紙製飲料容器普及協議会

問合せ：森を育む紙製飲料容器普及協議会事務局
〒110-8560 東京都台東区台東1-5-1
TEL 03-3835-7680 FAX 03-3835-7668



牛乳に含まれる各種ビタミンの残存率をみると、無菌充填の方がレトルト殺菌よりも残存率が高いことがわかります。



森林の市にブース出展

また、販売店での取り扱い数も全国に拡大しています。

今年 度の主な活動は、5月に行われた森林(もり)の市への出展のほか、10月に行われるCOP10、12月に行われるエコプロダクツ展への出展を予定しています。

カートカン は国産材を利用した日本で初めての飲料用紙容器。セラムック蒸着フィルム(GLFフィルム)を使用することでロングライフ化を実現した紙でつくられており、トイレットペーパーなどに再生利用することができま

平成 15年12月に間伐材マークの認定を受けており、カートカン飲料の飲用が拡大することで、木づかい運動が推進されます。また、原

紙製飲料缶「カートカン」をご存じですか



また、カートカンの売り上げの一部は「緑の募金」に寄付されており、国内の森林整備を行うボランティア団体やNPOの活動資金として活用されています。

内容 物の充填には高温短時間で殺菌した中身をすぐに冷却して、常温で容器に詰める無菌充填が採用されており、熱による劣化が少ないため、食品の持つ風味や栄養分などを損なわないというメリットがあります。さらに消費エネルギーやCO₂

に、間伐材の有効利用が拡大し、間伐が進むことにもつながります。

料の間伐材を含む国産材を30%以上使用しているため、カートカン飲料を購入することで森に資金が還流し、国内の森林整備に必要な費用の一部をまかなえることも

平成 16年、国民の生活シーンに密着し、間伐材など国産材利用を訴える媒体のひとつとして、カートカンへの期待が高まり、これに応えるため、カートカンを採用する飲料メーカー、製造に関わるメーカー、「日本の森林を育む」ことの意義に賛同した企業・団体により、森を育む紙製飲料容器普及協議会(もりかみ協議会)が設立されました。

以後、環境イベントへの出展や協賛などを通し、カートカンの普及、関連情報の収集・発信、需要拡大に向けた具体的な支援事業を続け、利用本数も年々拡大しています。

木づかいを訴える媒体としての期待に応え協議会が発足

等の排出も少なく、環境に優しい充填法を使った容器です。



木づかい.com
http://www.kidukai.com/



木育.jp
http://www.mokuiku.jp/



活木活木(いきいき)森ネットワーク
http://www.iki-mori.net/

http://www.kidukai.com/
http://www.mokuiku.jp/
http://www.iki-mori.net/

木づかいの取組

NPO法人活木活木(いきいき)森ネットワーク

〒112-0004 東京都文京区後楽1-7-12 林友ビル2階
TEL 03-5844-6272

木材利用の普及・啓発等を通じて
持続可能な社会づくりに貢献

NPO 法人活木活木森ネット
ワークは、平成20年に「地

球温暖化防止に貢献する木づかいの推
進「木材需要・価格・利用に関する調
査研究および情報提供」「木材利用の普
及啓発」などを通じ、木材に関わりな
がら、持続可能な社会づくりに貢献す
ることを目的として設立されました。

その 活動は、木づかい運動の
ポータルサイト「木づかい・

com」や、「木育：jp」といったホー
ムページ運営や印刷物やイベント出展
などを通じた情報提供、乾燥材供給者
情報や国産材製品情報等の提供、森
林・林業と地球温暖化防止との関係な
どについて説明するセミナーの実施等、
多岐にわたっています。

「木づかい祭りだ！全員集合！」
開催にむけて

活木 活木森ネットワークが、現
在開催に向けて取組んで

いるイベントのひとつが「木づかい祭り
だ！全員集合！」。

この イベントは、昨年、全国の
木づかい企業・団体が一堂

に会して交流するイベントとして開催
され、好評を博した「サンキューだよ！
全員集合！」のパート2として開催され
るもの。昨年は1日だった開催期間が
2日となり、バラエティに富む講師陣
によるセミナーや分科会など、企画が
盛りだくさん。一般企業や消費者にも
開かれたイベントとして、商品展示の
場「木づかい見本市」なども行われます。
「木 づかい祭りだ！全員集合！」の
開催によって、環境貢献を行

う企業や団体同士がつながり、団結し
て、木づかい運動の機運が高まるとと
もに、国産材利用に関する新たなアイ
デアやビジネスチャンスが生まれるよ
う、企業と企業、企業と消費者の交流
を支援することも目的としています。

作り手と使い手を結ぶ 異業種交流セミナー

「木づかい祭りだ！全員集合！」
開催日：平成22年11月4日(木)～5日(金)
会場：東京大学弥生講堂
参加費：無料
※セミナー等の参加には事前の申し込みが必要です
問合せ：活木活木(いきいき)森ネットワーク
Tel.03-5844-6272 Eメール mail@iki-mori.net

昨年開催された「サンキューだよ！全員集合！」の模様
(会場：東京おもちゃ美術館 四ツ谷ひろは内講堂 他)

